KANSAI GAIDAI UNIVERSITY

中国における同性婚に対しての人々の意識：浮かび上がってきた進歩的な考えの表れ

メタデータ	言語: ja 出版者: 関西外国語大学 公開日: 2016-09-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 珂月, 彩香 メールアドレス: 所属: 関西外国語大学非常勤
URL	https://kansaigaidai.repo.nii.ac.jp/records/5719

中国における同性婚に対しての人々の意識
―浮かび上がってきた進歩的な考えの表れ―

英語国際学部非常勤講師　珂月 彩香

１　はじめに

同性婚とは男性と男性、女性と女性という同性同士の結婚を指す。もちろん同性婚を希望するのは基本的に同性愛者同士と言うことになる。それでは、中国にはどれくらいの同性愛者が存在するのだろうか。青島大学の張北川教授は15歳から60歳の同性愛者の数は中国本土だけで3000万人と推計している。その内訳は男性が2000万人、女性が1000万人だという[1]。東京都の人口が約1000万人と言われているが、中国の同性愛者はそれをはるかに凌駕する人数なのである。この数字を見る限り、マイノリティでありながらも一大勢力といえる層の厚さがあると言えるであろう。

現代中国では同性愛者や同性愛的傾向を持つ者の事を同志という呼称で表わす。もとは、各国の共産党員が同じ共産党員を指して同志と呼称していたが、その信頼関係の深さが同性愛者間の親密さと相まって、中国では同性愛者を指す意味としても使われた。家族という形態が生まれ、異性婚が一般になった頃から、彼らは常に異端として扱われ排除されてきた歴史がある。中国では1997年まで同性愛は罪人として扱われ、同性愛者は流氓罪という罪に問われた[2]。その後も2001年まで同性愛的志向を持つ者は精神疾患として扱われていたというから、その立場は非常に危ういものだったと推測される。現在はすでに刑罰の規定も解かれ、制度的な弾圧からも解放されているが、人々が過去の価値観を引きずっていると仮定すれば、一度は罪や精神疾患として

---

[1] SearChina 2014.3.6
(http://m.news.searchina.net/id/1526017)
なお、総数が4000人と推定する研究者も存在する。

[2] 郭晓飞：“中国有过同性恋的非罪化吗？”,《中国“性”研究第26辑》, 万有出版社,2012
（http://www.sex-study.org/news.php?isweb=2&sort=76&id=1128&classid）

認識されてきたものを180度転換して、意識の上で肯定的に考えることは可能なのであろうか。

ここで現代の中国で、人々は心情的に同性愛や同性婚をどのように捉えているのかという疑問が浮かび上がってくる。その疑問を解決していくためには、実際に中国国民の意識を探る必要がある。ただ、同性愛や同性婚は差別意識と強く結びつく問題でもあるので、アンケートやインタビューなどでバイアスのかからない意見を拾うのは難しい。だが、ネットの掲示板などのコミュニケーションからは、マスコミなどでは取り上げられないナチュラルな生の声を拾い上げていくことができる。そこで､実際の胸の内を知るために、本論ではネットの生の声からリサーチを行った。その中で、中国国民の中からも同性婚を要望する声が上がってきているという事実を突き止めることができた。実際にインターネットを媒介にして、同性愛者や同性婚者の心情が語られるケースが増えてきているのである｡本論ではその貴重な声を捉えて、現代中国の同性愛、同性婚についての意見や心情を分析し、中国国民の意識を考察していく。

２　同性愛から同性婚へ

同性婚に至るためにはまず当事者同士が同性愛に目覚める必要がある。同性愛についての定義は、有馬・園田（2010）[3]で、同性愛者という言葉を定義するのは難しいと前置きしつつ、「自分の行動や感情が同性愛であるということを認め受け入れるというセクシュアリティの受容が、同性愛者としての自己定義につながる」としている。つまり、同性愛は自らが同性愛者であると受け止めることからスタートするのである。異性愛が恋人関係を経て、結婚するというプロセスをたどるのと同じように、同性愛に目覚めた二人が、互いに好意を持てば、やがて同性同士でも結婚したいという願望が芽生えてくるのは当然だろう。しかし、まだまだ法整備の進んでいない多くの国では

[3] 有馬將太・園田直子（2010）「同性愛者のセクシュアリティ―研究の視点と展望―」、『久留米大学心理学研究 』（第 9 号）、久留米大学、pp.89-97

様々な問題にぶつかる。同性婚を巡る問題は堀江（2010）[4]が詳しい。ここで堀江は「同性間パートナーシップを保護するための法制度が整備されていくことは、同性愛者の人権にとって一歩前進だとの見方もある」という。なぜなら、「異性愛で結合する形態のみを「正しい家族」であると主張し、その可能性をもたない（と、かれらが考える）同性愛者に「逸脱」であるとのレッテルを貼り、攻撃を繰り返す人々が少なくはないからだ」というのだ。つまり、同性愛者は結婚制度という法的な保護を受けなければ、時として同性愛を反対する者から攻撃を受けるというのである。そして、その攻撃内容も「ときに憎悪犯罪（hate crime）という直接的暴力をとる。たとえば，同性愛者という属性に対して向けられる「憎悪」が引き金となって攻撃が仕掛けられ，結果的に殺人へと至ることもある。また、直接的に手を下されなくとも、同性愛者であることにスティグマが付与される社会のなかでは，同性愛者たちが自死へと追い込まれることもある。さらには、友人関係や家族関係など、日常的な生活のなかにある人間関係が破壊され、「社会的な死」という状況に置かれることもある。」という。そして、このような暴力に対抗するためにも、抑制するためにも、「同性間パートナーシップの保護を求めていくこと」つまり同性婚が必要となるのではないかと述べている。同性婚に関して、権利擁護をする者たちがいる反面で、強く嫌悪を感じ攻撃する者たちもいるのである。そのため、同じ結婚であっても、同性婚は異性婚に比べて格段と多くの問題にぶつかることになるというのである。

中国国内での研究では张涵・孙婷婷・王鹏（2008）[5]が同性愛について大学生を対象にアンケート分析を行っている。また、邬迪（2014）がメディア記

---

[4] 堀江有里（2010）「同性間の〈婚姻〉に関する批判的考察― 日本の社会制度の文脈から ―」、『社会システム研究』（第 21 号）、立命館大学、pp.37-57

[5] 张涵·孙婷婷·王鹏:“大学生对同性恋的认知和态度调查”，《中国性科学》第17卷9期，中华人民共和国卫生和计划生育委员会，2008，pp. 9-12
（http://www.cqvip.com/qk/85334a/200809/28326622.html）

事をソースに同性愛の分析を行っている[6]。

それぞれが現代中国の同性愛や同性婚に関して掘り下げているが、本論ではさらに認知の先にあるそれぞれの胸の内にある承認の度合いや排除の感情などを探るためにネットコミュニケーションの自発的な意見をソースに分析を進めていく。

3　同性婚の制度の現状

近年、日本では同性婚についていくつかの大きな進展があった。行政レベルでの実現ではあるが、東京都渋谷区区議会が同性カップルであっても結婚に相当する関係として認めるパートナーシップ証明書を発行するという条例案をまとめ、賛成多数で可決成立している。そして、同性カップルの存在を「男女の婚姻関係と異ならない程度の実質を備える関係」として認めることを同区が実施する条項に明記した[7]。次いで、東京都世田谷区では、同性カップルが宣誓書を提出したらパートナーシップを認め、公的書類を発行する方針を決定した[8]。また、宝塚市も同性カップルからの申請があれば、受領証を発行してパートナーとして認めると発表した[9]。現在は地方自治体レベルでの対応に留まってはいるが、このように日本では徐々に同性婚に関する認識が広がっている。

一方、中国において同性婚はまだ法的な整備が行われていないのが現状である。中国社会科学院社会学者の李銀河氏が、同性婚を認める法の制定に向

---

[6] 邬迪："客观与偏见：党报同性恋报道的分析研究――以《广州日报》2007-2013年同性恋报道为例"，人民网-传媒频道，2014
（http://media.people.com.cn/n/2014/1208/c382352-26169486.html）

[7]「同性パートナー条例が成立　渋谷区議会で賛成多数」日本経済新聞2015/3/31
（http://www.nikkei.com/article/DGXLAS0040010_R30C15A3000000/）

[8]「世田谷区、同性カップルに公的書類発行へ　渋谷区に次ぎ」朝日新聞2015/7/29
（http://www.asahi.com/articles/ASH7Y5KF5H7YUTIL02J.html）

[9]「宝塚市が同性カップル認定へ」神戸新聞2015/11/30
（http://www.kobe-np.co.jp/news/shakai/201511/0008608989.shtml）

けて、社会科学院の代表団を通じて全人代の法案提出を促したり、全国政治協商会議に審議を求めたりしたが、いまだに大きな進展がないままである[10]。世界的にも法的に同性婚が認められる地域が広がりつつある中で、中国ではまだまだ合法化への道のりは険しいようである。事実、中国ではゲイの男性の90％は自分がゲイだと知っていながらも、異性である女性と結婚をしているという。そして、その理由は「慣習的な道徳が昔から重視されるので、生殖の規範と家父長制の規範に反するということが、独身者や、もっぱら同性愛であったり、公表していたり、女性的であったりする男性同性愛者を社会から排斥する理由となる」からであり、「中国のゲイは、偽装結婚を強いられ、露見するのではないか、そのために社会的評価や職を失うことになるのではないかという強迫観念の中で生きている」からだと考えられている[11]。つまり、中国は他国に比べて、同性愛者が社会的にまだまだカミングアウトしにくい土壌であり、それが法整備への進展を阻んでいるということなのである。また、一人っ子政策も大きく影響しており、子孫を残すのは自分しかいないというプレッシャーから、異性婚を選択する者もいる。しかし、本来の自分を偽った生活を過ごすあまり、配偶者に対してＤＶ（ドメスティック・ヴァイオレンス）を働く事例が多く報告されている。

４　中国での同性婚容認を阻む障害

様々な面で、同性婚が進まない中国ではあるが、やはりオープンにカミングアウトできる土壌がなかなか育たないということがある。堀江の主張するように同性愛者が「社会的な死」と言われるような状況が中国には本当にあるのだろうか。中国では「中国同性恋状況调查」と題して以下のような内容

[10]「中国4000万人の同性愛者　伝統観念や偏見、差別に苦悩」産経ニュース2014/３/８（http://www.sankei.com/world/news/140308/wor1403080025-n3.html）

[11] ルイ＝ジョルジュ・タン（2013）『＜同性愛嫌悪（ホモフォビア）＞を知る事典』、明石書店

がネットで報じられている[12]。

根据中国国内外同性恋专研究人员的保守估计，中国目前有 4 千万左右的同性恋。那么，中国同性恋的生存状况数十年来经历了怎样的变迁？中国同性恋人群面临哪些歧视？同性恋中的艾滋病感染人群，又面临怎样的困境？在中国目前的社会现状之下，追求同性婚姻合法化是否为时过早？
（中国国内外の同性愛研究者の予想では、中国に現在約4千万人の同性愛者がいるといわれている。それでは、中国の同性愛の状況は数十年来どんな変遷をたどったのだろうか？ 中国の同性愛の人たちはどんな差別に直面しているのだろうか？同性愛の中のエイズの人たちは感染して、どのような苦しい立場に直面しているのだろうか？中国で現在の社会状況の下、同性婚姻を求めて合法化する時期はまだ早いのだろうか？）

このように正面から中国の同性婚を論じたホームページが存在していることからも、中国国民は同性婚に深い関心があると考えられるが、この中で、「同性婚の承認はまだ早いのではないか」と発する一節がある。それは同性婚に対する障害を中国人自らが実感しているということなのだろうか。

この調査の中には、様々なタイプのカップルが登場する。その中の一つに衝撃的な行為が行われていることが明らかになった。同性愛を認めない人々が同性愛者を病気とみなし矯正しようとする動きだ。この中では、報道局が同性愛者を治療する医師とのやり取りを収録していて、実際に医者が同性愛を病気とみなし治すことができると主張している[13]。以下はそのことが書かれている一節である。

周正猷医生向记者展示他写的几本关于“同性恋矫正治疗”的书籍，其中一本为怀疑子女是同性恋者的父母提供指南，主要内容是在某种程度上将性倾向“归

[12] http://www.rfa.org/mandarin/zhuanlan/zhuantixilie/zhongguotongxinglianxianzhuangdiaocha

[13] http://legal.gmw.cn/2015-10/19/content_17391735.htm

咎于”父母的抚养方式。
（周正猷医者は記者に彼が書いた何冊かの「同性愛の矯正治療」に関する書籍を見せたが、その中の1冊は子供が同性愛者かどうかを疑う両親のためのマニュアルで、主な内容はある程度性の傾向を両親の育て方の責任とするものであった。）

子供の育て方が間違っているというこのような考え方の根底は、同性愛者が正しくないことだとする思考が働いている。

周医生说，尽管过程漫长而艰难，但他“治愈”了近70%的同性恋“患者”。批评人士指出，每个疗程需要花费120美元(约合742元人民币)，对中国人的平均月薪来说是不小的一笔钱，因此“漫长而艰难”意味着利润颇丰。(略)他说:“电击是一种常用的方法。当‘患者’有同性恋想法时，我们就对他们进行电击或注射催吐剂。”
（周医者は、過程は長くて苦難に満ちているけれど、しかし彼は70%近くの同性愛「患者」を「治癒」したという。（医師の行為を）批判する人は、治療に120ドル(人民元で約742元)かかるという、中国人の平均月給からいえば小さくない金額なので、そのため「長くて苦難に満ちている」のは利潤が豊かなことを意味するのではと指摘する。彼は(治療に有効なのは)「電気ショックが常用する方法です。「患者」が同性愛の傾向がある時、私達は彼らに電気ショックを与えるか注射で吐かせる薬剤を打ちます。」という。）

現在に至っても同性愛者を病気として捉え、このような治療と称する強制的な医療行為がまかり通っている現状がある。このように同性愛そのものを医学的に解決、矯正することが可能だという主張は根強い。もともと流氓罪という罪で罰していた歴史があることで、どうしても罪としてみてしまうといった風潮も残っているのだろう。罪として罰することができなければ、矯正しようという発想に結びつくのかもしれない。もちろん、同性愛者保護団体はこれに反発をしている。

中国同性恋群体已经开始反击。他们组织了多次抗议活动，尽管规模小，但在中国是勇敢的行为。录像片段显示，活动家们在北京的医学会议中展开横幅，上面写着“同性恋不是病”。然而代表们似乎不信服。一位医生说：“我们不能支持同性恋。”他的同事补充道：“虽然我们试着去了解。”
（中国同性者たちはすでに反撃を始めた。彼らは何度も抗議活動を組織した。規模は小さかったが、しかし中国では勇敢な行為だ。ビデオの一部は、活動家達が北京の医学の会議の中で、上に「同性愛は病気ではない」と書いた横書きのスローガンを掲げる。しかし、代表達はまったく納得しなかった。だがここで、医師たちは「私達は同性愛を支持することはできません。」といい、彼の同僚は補充して「私達は理解できるよう試みてはいますが。」と答えている。）

このように、医師でさえも同性愛者に理解を示さない者は多い。

除了采取此类直接行动，活动家们还通过另一种途径表达诉求。他们对“同性恋治疗”机构发起的诉讼被法院受理，这在中国尚属首次。
原告小振的对BBC说：“我只接受过一次电击疗法。你可以想象那些被电击过很多次的人的感受。”他亲身接受了这种“治疗”，以便收集证据。现在他希望法院能作出倾向于他的裁决，有效禁止这种“治疗”行为。当然，其他地方也有类似的抗争。
（この種の直接行動をとるという行為以外に、活動家達はまた他の方法を使って訴えを起こす。彼らは「同性愛の治療」をする機関に対して訴訟を起こし、中国で初めて裁判所に受理された。原告の振さんはBBCに対して、「私は一回だけ電気ショックを受けたことがあります。あなたも電気ショックをたくさん受けさせられた人の気持ちがどんなだか想像することができるだろう」といった。 彼は自らこのような「治療」を受けて、証拠を集めた。今彼は裁判所がこのような「治療」行為を禁止するという裁決に傾くことを望んで戦っている。）

同性愛者たちは決して自分が矯正されて異性愛者になることを望んでいないのである。治療そのものも彼らの尊厳を傷つけるものであるし、振さんの振る舞いも治療で同性愛は矯正できないということを証明している。

欧美的活动家们已经对抗“厌恶疗法”数十年，至今仍在努力，“同性恋矫正”并未销声匿迹。
（欧米の活動家達はすでに「悪徳治療法」に数十年対抗していて、今なお努力しているが、「同性愛矯正」は決して姿をひそめていない。）

このように、いまだに根強く同性愛を悪と考える風潮は残っている。

矯正することが正しいという主張がまかり通れば、堀江の言うところの同性愛者が「社会的な死」を受ける状況になってしまうだろう。しかし、このように同性愛保護団体が法廷闘争を仕掛けるまでに至り、状況の好転が望める可能性が出てきた。同性愛や同性婚を認めてもらう道筋をつけるためには、まずはこのような医療行為によって個人の自由な感情は曲げられるという意識改革をしていくことも必要であろう。それにはもちろん、外国の見識者の声などもこの医療行為への抑止力となるであろうが、やはり中国国内の世論による圧力が一番効果的であろう。そのためにも中国国民の中に同性愛者や同性婚者への理解や浸透が望まれ、社会的な差別や偏見を失くすことが必要とされる。

5　中国での同性婚容認に向けた人々の心の声

それでは、中国国民の心の中には同性愛や同性婚について実際にどのような考えがあるのだろうか。同性愛、同性婚への偏見や無理解は蔓延しているのであろうか、それとも実は進歩的で自分の価値観に存在しないものでも認められる寛容さを持っているのだろうか。人々の心の声とも言えるネットの

コミュニケーションから実像を捉えていくことにしよう。同性愛者であることをカミングアウトした発言者（スレ主）に対して、活発なやり取りが行われている掲示板から、実際の人々の声を抽出していく[14]。

５－１　異性愛者からの寛容な意見

意外なことに、自分は同性愛者ではないが、スレ主のような同性愛について理解ができるという人々からの寛容な意見が続く。

支持楼主，虽然我是异性恋，但是我并不反对。
（スレ主を支持します、私は異性愛者だけど、反対しません。）

其实同性恋比我们异性恋背负更多的压力，祝福他们！
（実際、同性愛は私達の異性愛に比べて背負っているプレッシャーはずっと多いよね、彼らを祝福します！）

祝贺楼主得到真爱，并永远幸福，我虽然是异性恋者并已经结婚，但是，我能理解并认同同性恋者，这很正常，我感觉楼主是一个很理性很有修养的人。就是这么多年来一直好奇的就是同性恋在社会中毕竟是为数不多的，那大多数同性恋者是怎么找到真爱的，就是在生活中比如看到自己心仪的对象了，那怎么就能知道对方也是同性恋者呢，如果去追求的话有可能就碰一鼻子灰了，万一对方是异性恋者还弄得挺尴尬。同性恋者找伴侣怎么就能判别对方也是同性恋呢。
有人说同性恋者有一种特有的感觉，能感觉但到对方也是同性恋，就好像能放电一样。到底是不是这样的呢？（中略）那是他们比较幸运正好碰上了一见钟情的人并且对方也正好是同性恋呢还是人们所说的同性恋者有一种特异功能能互相放电而看出来对方也是同性恋者呢，（中略）求解楼主！
（スレ主が真実の愛を得て、永遠に幸せであることを祈ります。私は異性愛

[14] http://bbs.tianya.cn/m/post-feeling-3068890-1.shtml

ですでに結婚しているけれど、私は同性愛者が理解できるしアイデンティティも認めることができます。これは普通なことで、私はスレ主がとても理性的で教養のある人だと感じます。ずっと気になっていたことは同性愛者が社会の中で少数派なのに、大多数の同性愛者はどうやって（同性間で）真実の愛を見つけるのか、生活中でたとえば自分の気になった相手を見て、どうして相手も同性愛者かどうかを知ることができるのか、もし（一方的に）追いかければ、万一拒絶されて、相手が異性愛者だったらばつが悪い気持ちになる。同性愛者が伴侶を探すときどうやって相手も同性愛者だと判別することができるのだろうか。同性愛者は特有な感覚があると言う人がいて、相手もまた同性愛者だとビビビとわかるという。こんな感じなのだろうか？（中略）彼らがラッキーにも一目惚れした相手でかつ同性愛者であるという人に巡り合ったということなのか、やはり人々のいう同性愛者は一種の特殊能力があってお互いにビビビとやって相手も同性愛者だということを見つけるんだろうか、（中略）スレ主に回答を求めます！）

前阵子和朋友吃饭还说到同性恋问题，我觉得很正常很能理解，朋友大吃一惊，但我就是认同。如果爱了，为什么一定要分性别。经历了很多，觉得为自己而活着的人是有勇气的人，支持。。。。。
（この間友達と食事をして同性愛の問題に話が及んだんだけど、私はとてもふつうで理解できるというと、友達はとても驚いていた。しかし私はそれはアイデンティティだと思います。もしも好きになったら、どうして必ず性別に分けなければならないといえるだろうか。たくさん色んな経験したので、自分のために生きている人は勇気がある人だと思って、支持します。。。。。 ）

異性愛者ながら、同性愛者の心情をくみ取って理解しよう、相手のことを知ろうという姿勢が見られる。そして、そこからは、同性愛者のことをストレートに認めている姿勢が伝わってきて、わだかまりのある感情は見受けられない。差別や偏見で彼らを見るのではなく、自分とは考えが違うだけの者として彼らを見ており、そこには同性愛がアイデンティティの一つとして受

け止められている様子がうかがえた。自分とは異なるものに理解を示すという傾向は、これからの中国で同性婚容認に向けた世論を形成していく糸口になるかもしれない。

５－２　愛は性別にとらわれる必要がないという意見

意見の中には、そもそも愛に性別は関係なく、自分たち次第であるという進歩的な考えも数多く見られた。

爱不分性别
祝你幸福
（性別によって愛は分かちません。あなたに幸あれ。）

人最重要的是活得真诚就好。其他的都是可以考虑说的。
（正直に生きることが人生で一番重要なことだよね。その他のことはすべて考慮することができるものね。）

如果让我遇到一个我喜欢的，而且也喜欢我，管他是男是女我都不介意，（略）
（もし私が好きな人に出会って、その人も私が好きだったら、相手が男だろうが女だろうが私は気にしない、（略））

真爱无关性别 国籍 年龄 贫穷与富有 真爱可以排除万难
祝福你 同性恋比异性恋要承受的压力和困难多得多 所以你们已经很棒了
希望你和你爱的人可以一直走下去 加油～～～
（真実の愛は性別、国籍、年齢、貧富の差に関係なく、真実の愛はすべての難を取り除くことができる。だから同性愛が異性愛に比べてプレッシャーと困難を受けることが多いといえば多いので、二人はすでにとても偉大だよ。祝福します。あなたとあなたの好きな人がずっと一緒に歩き続けることができるように。頑張って～～～）

性という形而下で捉えられるシンボルの違いで、形而上ともいうべき愛を制限すること自体、不毛であるという価値観が見られる。ここからも同性愛が特殊なことという意識は見られない。それよりも異性同性に関わらず、同じように恋愛を応援したいという思いが見られた。表面的な差異にこだわらない中立的なものの見方をする人が多いといえるだろう。

５－３　同性婚を容認する意見

同性愛について支持するという意見は多かったが、同性婚までも容認しようという意見も多く聞かれた。

婚姻自由，同性婚姻也应自由
（婚姻は自由だから、同性婚も当然自由だ）

我是一个女生，曾经很喜欢一个女孩，喜欢了很多年。嗯，不过我么会一直是朋友的，我身边的朋友有三个是，所以对我来说，同性恋很平常。这个社会需要理解。祝福你！！
同性婚姻合法化是必然的
（私は女性で、前に一人女の子が好きになったんだけど、数年間ずっと好きでした。でも私たちはずっと友達で、私のまわりの友達３人もそうで、だから私にとって、同性愛はとても普通のことです。この社会には（こういうことを）理解してくれることが必要だね。あなたを祝福します！！ 同性婚が合法化するのは必然だ。）

现在社会，同性恋确实很多，合法化应该是必然的，现在只是一个时间问题而已。
（今の社会は、同性愛は確かにとても多くて、合法化するのは必然的だろう、今はただ時間が問題なだけだ。）

人家国外的都结婚了，中国也会有这么一天的，没什么大不了的

（国外の人はみんな(同性)結婚しているから、中国にもいつかこんな日がやってくるよ、そんなに驚くことではないよ。）

有些和我一样生于农村的同性恋孩子，他们的父母思想很保守。这就给他们的心里带来很大压力，同性恋是基因遗传的，不是道德问题，更不是疾病。他们的痛苦，异性恋很难体会到

（私と同じように農村に生まれた同性愛の子は、両親の思想がとても保守的だろう。だから彼らの心の中にとても大きいプレッシャーをもたらせることになるだろうな。同性愛は遺伝に基づくもので、道徳の問題ではないし、なおさら疾病でもない。彼らの苦悩は、異性愛者にはなかなかわかりにくいだろうね。）

外国の同性婚成立のニュースを聞いて、いずれ中国でもそうなるのが自然の流れだろうと思っている者も多い。ただ、農村では理解されにくいだろうという声も聞かれ、現実の壁の高さが垣間見られた。自分の心のままに従うのが一番だと考えている人も多く、たとえ理解されなくても自分の気持ちに従うほうがいいと考えている者は多い。

中国の人々が同性愛者に偏見を持つことなく同性婚を肯定する意見を書いていることこそが、意識の変革を物語っていると言えるだろう。そして、その背景に同性婚に対してネット上で自由な意見を発信ができる権利を獲得できているという今の時代の良さにも注目したい。

５－４　個人主義的な意見

中国にも個人主義が台頭してきていることがうかがえる意見も多い。

其实现在gay是挺多的，人麽只要活的开心就好。人生短短几十年，青春年华就几年的时间。好好把握

（実際今gayはとても多いけれど、人はただ愉快に暮らせればいいんだよ。

人生は数十年ってごくごく短いものだし、青春時代は数年かしかない。そこをよく理解しておくべきだ。）

网友，有些是同志，觉得没什么，我不记得在哪个地方看见过哪个名人说过这样的一句话来着，“爱不分年龄，不分国界，甚至性别”
两个人在一起开心就好，现在的异性恋很难维持的好，唉，不知道咋说。
祝亲们开心快乐。
（ネット友達は何人かは同性愛者なんだけど、特に何も感じてなくて、どこかで見たのか誰か有名人が言ったのか覚えてないんだけれど「愛は年齢で分けず､国で分けず､性別でさえも分けない」という言葉があった。２人がいっしょにいて楽しかったらいい、今の異性愛はなかなかいい状態を維持するのが難しいから、なんて言ったらいいかわからないけどね。
あなた達は愉快に楽しいことを祈ります。）

楼主做自己想做的就好。 但是也要尽量想办法让家庭接受 才能真正幸福。
（スレ主は自分のしたいようにすればいい。 しかしできるだけ方法を考えて家庭に受け入れられるようにしないとね。それこそ本当の幸せだよ。 ）

是真爱就该追求，我们旁人也该祝福。
同志的路太不易。
（真実の愛はそうやって追求するべきものだから、私たち周りの人は祝福するべきだろう。 同性愛の道はとても険しいけれどね。）

楼主前卫，支持下。但要沉受很大的压力，楼主做好准备了吗
（スレ主はアバンギャルドだね。支持するよ。しかし大きな重いプレッシャーを背負うことになるけれど、スレ主は準備できてるのかい？）

不反对，不过不好向家里交代吧。没别的意思，祝福。
（反対しません、でも家を引き継ぎにくいでしょう。他意はないよ、祝福し

ます。）

突き放したような意見とも言えるが、こういう淡々とした内容から、人は人、自分は自分と、価値の押し付けを良しとせずに、それぞれが個性を持って生きていくことに寛容な価値観が反映されているようである。中国のネット社会ではすでに欧米並みの個人主義の価値観が定着しているのかもしれない。ここでも、自分の気持ちに誠実に生きることが大事と考えられていて、社会に迎合したほうがいいという意見は見られなかった。強い感情で賛成してもらえるというのも大事ではあるが、すべての人が強い感情で賛成するというのも中立的とはいいがたい。このような突き放したような意見も世論を形成する上では重要であろう。

５－５　嫌悪する意見とそれに対するフォロー

もちろん同性愛自体を受け入れがたく思っている意見もある。

恶心！去死吧！！
（吐き気がします！死ね！！）

しかし、こういう攻撃的な意見に対して、周りからのフォローの意見が多数寄せられる。

你很无聊也很幼稚。
（あなたはとてもつまらなくとても幼稚です。）

他同志碍着你什么事了？你要诅咒人家？心胸这么狭窄。
（彼の恋人はあなたにどんな事をしたっていうんだい？あなたは人を呪うのですか？度量が狭いね。）

那是他的人身自由，明白么？
（それは彼の自由だよ、分かるか？）

你不喜欢大可以不进来，或者看了不喜欢的话题你可以马上关了嘛！
（あなたが嫌いなら深入りしなければいいし、嫌いな話題ならすぐ（ネットを）閉じたらいい！）

你不喜欢看，可以右击XX，何必攻击别人。
（あなたは見るのが嫌いなら、右クリックでXXをしたらいいだけで、他の人を攻撃する必要はない。）

同性恋，异性恋都是每个人该有的自由与权利，
其它人没有理由加以指责与攻击。
（同性愛、異性愛すべて一人ひとり自由な権利があるのだから、他の人を非難して攻撃する理由はありません。）

このように排他的感情を見せる者に対して、人は人、自分は自分と言うような個人主義的な考えで諌める意見が続く。感情的な言葉に対して論理的に意見を述べている点が印象的である。これは理知的な議論の展開を妨げないようにしたいという人々の意思の表れともとれるであろう。個人を尊重するようなフォローが続くことで、ネット上では結果的に同性愛者の人権を皆で守っていくような形となった。そして、これが現実社会において体現された時、中国の同性愛者に対する法整備は一気に進んでいくのだと思える。

6　おわりに

日本ではいくつかの自治体が同性婚を認める一方、神奈川県海老名市の市議が同性愛者は異常というツイードを発信し、多くの反論を招いて社会的に

も注目されるという出来事があった[15]。多くの人がこのツイードは同性愛者に対する差別発言だと受け止め批判した。ここから、世論としては一方的なマイノリティの排除は容認しないという風向きを見せたと言えよう。日本でもこのように同性愛は個人の嗜好の問題として捉えられていて、このような人々の意志が同性愛者の人権を守ることにも繋がっていくのかもしれない。中国における同性愛や同性婚に対するネットコミュニケーションの自発的な意見もこれに通じるものを感じることができた。実際にネットで活発に意見を交わしている人たちの間では、同性愛者の発言に耳を傾け、その心情を理解しようという中立的な姿勢が見受けられた。表面上の差異で人を判別し差別するという軽率な意見には反論が加えられるなど、一方的な断罪を許さない姿勢も見られた。

約3000万人という多くの数の同性愛者が現実に中国には存在する。しかし世論が同性婚を容認の方向へとなびかなければ、社会を変えることはできない。だが、その世論を形成する下地をネットの発言の中に見出すことができたのは本論の何よりも大きな収穫と言えるだろう。中国国民の間でも進歩的な考えが台頭してきているという事実が、次なる一歩の原動力となり得るからだ。自分とは異なる価値観の者にも理解を示すという傾向は、これから中国での同性婚容認に向けた世論を形成していく糸口になるかもしれない。

[15]「「同性愛は異常なのだ」海老名市議、ツイッターに複数回投稿 「酔って勢いで」…削除」産経ニュース2015/11/29
（http://www.sankei.com/affairs/news/151129/afr1511290021-n1.html）

７．参考文献

郭晓飞："中国有过同性恋的非罪化吗？"，《中国"性"研究第26辑》，万有出版社，2012

张涵・孙婷婷・王鹏："大学生对同性恋的认知和态度调查"，《中国性科学》第17巻９期，中华人民共和国卫生和计划生育委员会,2008,pp.９-12

有馬將太･園田直子（2010）「同性愛者のセクシュアリティ―研究の視点と展望―」、『久留米大学心理学研究 』（第 9 号）、久留米大学、pp.89-97

堀江有里（2010）「同性間の〈婚姻〉に関する批判的考察― 日本の社会制度の文脈から ―」、『社会システム研究』（第 21 号）、立命館大学、pp.37-57

ルイ＝ジョルジュ・タン（2013）『＜同性愛嫌悪（ホモフォビア）＞を知る事典』、明石書店

佐藤美和（2008）「同性パートナーシップの法制化と「承認の政治」の可能性―アメリカにおける議論を手がかりに―」、『ジェンダー研究』（第11号）、お茶の水女子大学、pp.91-105

本林良章（2012）「同性婚は認められるべきか. ―婚姻の意味を問うギデンズとサンデルを手がかりとして―」、『21世紀倫理創成研究』（第５巻）、神戸大学大学院人文学研究科倫理創成プロジェクト、pp. 55-71